

心臓財団 季報



公益財団法人

日本心臓財団

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-10 松楠ビル6階

■Tel: 03-5209-0810 ■Fax: 03-5209-0830 ■e-mail: info@jhf.or.jp ■URL: https://www.jhf.or.jp

No.259 JUN.20, 2025

2025年度 日本心臓財団事業計画

日本心臓財団の2025年度の事業計画をお知らせいたします。本年は1985年に日本心臓財団が「健康ハートの日」を提唱してから、ちょうど40年になります。健康ハートの日シンポジウム(5P参照)では、予防啓発の40年の歴史を振り返るとともに、今後について討論します(インターネット配信予定)。そのほか本年も数多くの研究助成をはじめ、さまざまな心臓病の予防・治療に対する啓発活動を行っていきます。そしてこれらの活動は皆さまのご支援に支えられております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

I 個人研究に対する助成事業

第51回日本心臓財団研究奨励
(9月公募予定)

II 研究者の留学費用に対する助成事業

第3回日本心臓財団・日本循環器学会海外留学助成
(10月公募予定)

III 学会および研究会に対する助成事業

1. 公募助成
 - 1) TOPIC 2025
 - 2) PTEC 2025
 - 3) その他、審査委員会で承認された循環器関連学会
2. 指定助成・共催
 - 1) 第47回美甘レクチャー
(日本循環器学会学術集会特別招聘講演)
 - 2) 日本心臓財団シンポジウム
(日本循環器学会学術集会)
 - 3) 第37回日本循環器病予防セミナー

IV 共同臨床研究等に対する助成事業

1. 虚血性心疾患に関する研究
2. 心不全に関する研究
3. その他

V 指定研究等の実施・助成事業

予防医学のための家庭心電計普及活動

VI 個人または団体に対する褒賞事業

1. 第51回日本心臓財団佐藤賞

2. 第50回日本心臓財団草野賞
3. 第40回日本心臓財団予防賞
4. 第21回日本心臓財団小林太刀夫賞
5. 第14回「心臓」賞

VII 広報啓発事業

1. インターネット・メディアによる啓発活動
ホームページ、セカンドオピニオン
2. 日本循環器学会・日本循環器病予防学会・日本高血圧協会との協力事業
市民公開講座の開催
(共催: 日本循環器学会・日本循環器病予防学会)
「世界高血圧の日」市民公開講座の開催
3. 予防啓発小冊子の発行
4. 「健康ハートの日」活動
健康ハートの日2025: シンポジウム、ライトアップ、小学生向け心臓教室等
5. 禁煙推進活動
6. AED・心肺蘇生普及活動
AED20周年記念事業
PUSHプロジェクト
7. 日本心臓財団メディアワークショップの開催
8. 患者団体・予防活動団体への協力
9. 日本川崎病研究センター事業への協力
10. 月刊誌「心臓」の発行
(日本循環器学会との共同発行)
11. 機関紙「季報」の発行
12. 榊原記念病院との共催による啓発活動
市民公開講座、心臓病教室等
13. その他の啓発活動

心房細動と心房粗動のカテーテル治療

今井 靖 (自治医科大学教授)

心房細動とは

心房細動は心臓の血液が戻って来る二つの部屋(右心房・左心房)がブルブルと痙攣(1分間に350~600回)し、その電気が下の部屋(血液を送り出す心室=右心室と左心室)に伝わり、心室もテタラメ(ランダム)に収縮し、心拍数も1分間に100回以上と頻脈になることが多い不整脈です。動悸あるいは心不全の原因になるとともに、心房内で淀んだ血液が血栓を作り、その血栓が動脈を流れて脳梗塞を起こしやすいことが知られています。わが国でも70歳以上の方で数%程度にみとめられる頻度の高い不整脈であり、多くの患者さんでは脳梗塞予防のために血栓の予防薬を服用いただいております。

この心房細動が生じるきっかけ、あるいは引き金となる場所で重要なのが肺静脈です。肺静脈は4本あり、肺で酸素を受け取ってきれいになった血液を左心房に送っています。この肺静脈の付け根の周囲から、心房細動という脈の乱れの引き金となる異常な電気活動が生じるため、そこから左心房に電気が流れないようにその肺静脈の付け根を、カテーテルという細い管を用いて電気が流れない状況を作り出すことが心房細動におけるカテーテルアブレーションの基本方針となります。普段は正常の脈で時々心房細動を起こす“発作性心房細動”の方、心房細動のまま正常の脈に戻らない方(“持続性心房細動”)で心房細動の持続期間が1~2年以内の方が主な治療対象となります。

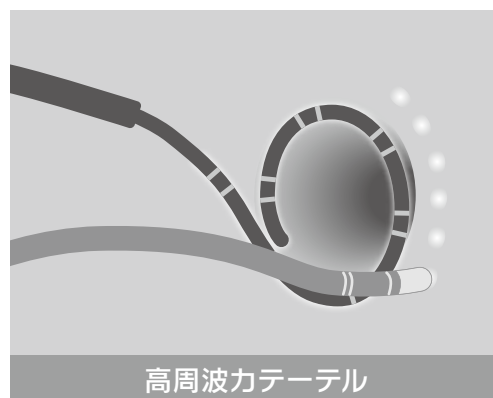
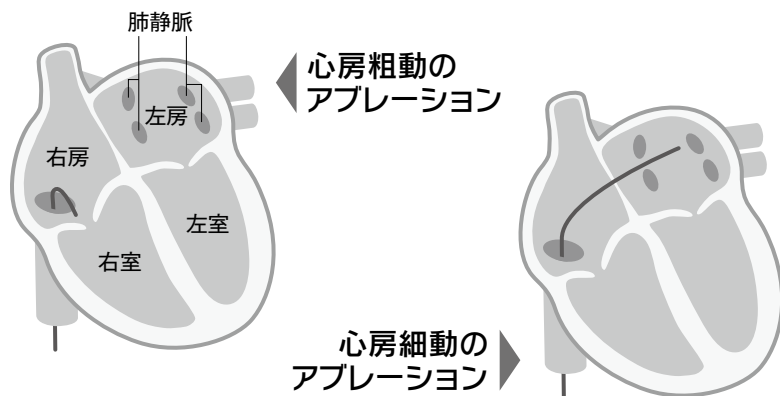
心房粗動とは

心房粗動は右心房、左心房あるいはその両者の中で規則的に電気がグルグル回るものを指し、最も多いのは右心房と右心室との間にある三尖弁の周囲をグルグル回るものが代表とされています。運動会のリレーで決められたトラックの周囲をグルグル回るのと同じなので、いずれかの場所に通行止め(多くの場合、下半身の血液が右心房に戻る静脈(下大静脈)と右心房・右心室の間にある弁(三尖弁)との間に通行止めを作成します)を作り、電気を回れなくするのがカテーテルアブレーションの戦略となります。

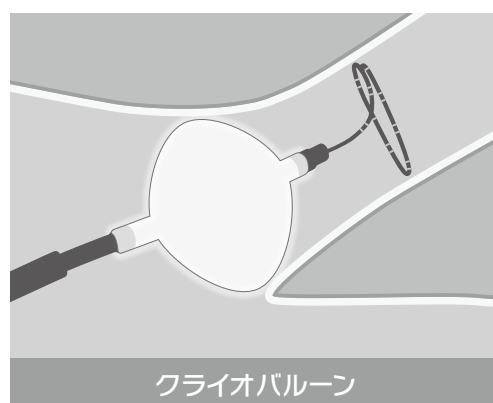
高周波アブレーションとクライオバルーン

心房細動の治療については、2024年までは、高周波カテーテルアブレーションとクライオバルーンによるアブレーションという、2つの治療法が主流でした。

高周波アブレーションはカテーテルの先端に速いスピードでプラスマイナスを入れ替えて熱を生じさせ小さな火傷の点を作るもので、この点をつないでいくことで肺静脈から左心房に異常な電気が流れないようにする治療です。最も歴史がある方法ですが、1点1点火傷を作りながらカテーテルを動かしていく操作であるため、若干手技に時間を要します。しかし一方、お習字の小筆と同じでどこにでも適応することができ、1回の治療は小さな範囲である点から、この肺静脈の付け根だけではなく、先ほど述べた心房粗動の電気回路に通行止めを作るのにも利用できる点で最も汎用性がある治療法です。



クライオバルーンは、バルーン（風船）状のカテーテルを4本ある肺静脈の付け根に挿入し-40℃から-60℃という低温にすることで電気の流れを断ち切る治療法で、4本の肺静脈にそれぞれ3分間程度挿入・冷凍することで治療が可能です。他の部位に適応することはできませんが、肺静脈の治療法としては前述の高周波よりも短時間で対応できる点がメリットであり、また多くの医療機関でこの手技にも習熟しているため、効果と安全面の両面からお勧めできる治療法のひとつです。ただし心房細動の治療にはなりますが、心房粗動の治療には部位が違いため適応できません。また、冷凍治療の弱点としては心臓の壁だけではなく、その周辺の臓器、組織も冷凍してしまうため、心臓の傍を通る神経とくに横隔膜に向かう横隔神経の麻痺を生じる懸念があり、それをできるだけ避けるようにして治療が行われています。



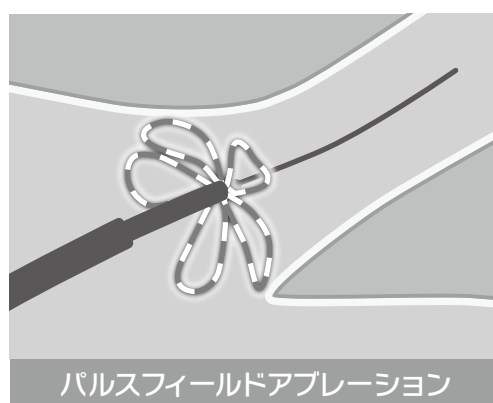
パルスフィールドアブレーション

パルスフィールドアブレーションは心房細動に対する最新の治療法で、本邦には2024年から導入され、急速に多くの施設に導入されつつある治療法です。肺静脈の付け根にカテーテルを配置し、カテーテルの金属が貼り付けられた部位（電極と呼びます）の間で高い電場を作り出し（これをパルスフィールドと呼びます）、細胞に一過性の穴をあけて治療するものです。

血管、神経、食道などの細胞はこの電場に対して相対的に強く、細胞への影響は小さいか一過性に留まりますが、心臓の細胞はこの電場に反応し細胞に穴が開き、細胞は死滅することとなり、心臓の細胞が選択的に治療され電気の流れが断ち切られるというものです。

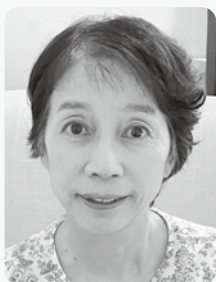
そのため、心臓の周辺臓器 胃・食道、血管、あるいは横隔膜に向かう神経などを傷害することなく、左心房と肺静脈の繋がる場所を治療できてしまう点で急速に普及が進んでいます。ただし、新しい治療法であるため高周波やクライオと異なる合併症や問題点が今後出現する可能性があります（今までの臨床データからは安全性・有効性ともに少なくとも劣ることはなく、手技時間は有意に短いというデータが得られています）。

この治療法は現在のところ、心房細動にのみ適応があり、心房粗動に使用することはできません。心房粗動は高周波アブレーションにより実施されます。



ボストン・サイエンティフィック社の図を元に作成

第40回 日本心臓財団 予防賞



受賞者

森河 裕子

金沢医科大学看護学部
名誉教授

日本心臓財団予防賞は、地域社会に密着し、循環器疾患予防に長年貢献もしくは学術研究開発に功績のあった団体あるいは個人に贈られるものです。第40回は『職域をフィールドとした研究と実践』に関する実績で、森河裕子氏が選ばれました。

第61回日本循環器病予防学会学術集会(会長：野出孝一 佐賀大学医学部長)にて賞牌および副賞50万円が贈られました。

第21回 日本心臓財団 小林太刀夫賞

受賞者 北海道増毛町

日本循環器管理研究協議会(現：日本循環器病予防学会)初代理事長の名を冠した日本心臓財団小林太刀夫賞は地域と密着して、循環器病を中心とした生活習慣病予防のために長年貢献し、生活習慣等の改善により疾病管理に実効を挙げた活動、あるいは予防のための創意工夫により将来において疾病管理の実行が期待できる活動を展開中の保健師、看護師、栄養士の個人または団体に贈られるものです。第21回受賞は『高血圧ゼロのまちプロジェクト』による実績で、北海道増毛町が選ばれました。

第61回日本循環器病予防学会学術集会(会長：野出孝一 佐賀大学医学部長)にて賞牌が贈られました。

AED20周年記念ホームページ

<https://aed20th.com/>



..... あって当たり前から、当たり前使用前のものに



まず呼ぼう、AED

AED 20周年記念シンポジウム
講演記録集 掲載



AED 普及啓発動画

「動かせ、運命。」

「救命ヒーロー Mr.AED」



健康ハート・シンポジウム 2025

循環器病予防の40年：過去・現在・未来

1985年に日本心臓財団が循環器病の予防と健康を呼びかける「健康ハートの日」を提唱してから40年が経過しました。そこで、今回のシンポジウムでは「循環器予防の40年：過去・現在・未来」をテーマに、これまでの循環器予防活動を振り返り、来るべき未来に向けた新たな展望をディスカッションします。

日 時：2025年7月9日(水) 16時～

場 所：都内会場(会場は関係者のみ) ハイブリッド開催【全国配信】

*視聴希望の方は健康ハートの日サイト(<https://www.kenko810.com/>)にて詳細をご参照ください。

主 催：日本心臓財団、日本循環器協会、日本循環器学会、日本AED財団

第1部 講演

循環器予防の過去、現在

- 講演1. 健康ハートの日 40年の活動の歴史 和泉 徹
講演2. 循環器予防の40年 岡村 智教
講演3. 大阪万博のAEDと緊急体制 石見 拓
講演4. AIを用いた循環器予防 現状と未来 笹野 哲郎

第2部 パネルディスカッション

次の20年の循環器予防

磯部 光章 木田 圭亮 東條 美奈子

*講演内容は仮題です

セカンドオピニオンより

日本心臓財団ではメールによる無料医療相談「セカンドオピニオン」を行っています。その中から、スマートウォッチでの心房細動の見方についてのご相談を紹介し（個人が特定できないように編集してあります）。



スマートウォッチでの心房細動の見方



60歳、男性

私のスマートウォッチには心房細動を検知する機能がありますが、どのように使うとよいのでしょうか。

日本心臓財団からの回答

スマートウォッチなどのウェアラブル機器で心房細動を検知する方法について、ここではアップルウォッチを例に心房細動を見る2つの方法を解説します。

- 1) 心電図機能を使用し、時計に指をあてて心電図を記録する：30秒間の記録が得られます。
 - 2) 脈拍計測機能（アップルの表記では「心拍数」）を利用して、脈拍の乱れ（「不規則な心拍の通知」）から心房細動ではないかと推定します。運動中などはノイズが入るためこの機能は使えないのですが、安静時ではそれなりの精度で心房細動を推定できます。
- 2) は、アップルウォッチを装着して、不規則な心拍リズムの通知をオンにしていると通知が届きます。
1) は、自分で心電図アプリを立ち上げて指をあて計測する必要があります。

動悸や脈の乱れなどを感じる事があれば、その時に1)の心電図機能で測ってみるのが第一の使い方です。また、2)で不規則な心拍の通知が来たときに、1)の心電図機能で測ってみるのもいいと思います。症状がなくても定期的（1日1回程度）に心電図を記録してみても検脈の代わりとしてよい方法ですが、1日に何度も測定する必要はないと考えます。

このとき注意すべき点は、アップルウォッチの計測で「心房細動」「不規則な心拍の通知」と表示されても、100%確実に心房細動、とは言えないことです。心房細動かどうかを明らかにするために、必ず医師の診察と心電図検査を受けてください。

他の機種もこちらを参考に、使用説明書に沿ってご使用ください。



日本心臓財団のホームページをご活用ください インターネットによるセカンドオピニオン

患者さんやそのご家族からの心臓病に関する疑問や相談を専用メールにて受け付け、専門医が無料でメールにて回答を返信しています。今までの回答とご相談のうち多くの方の参考になりそうなものは、相談内容を個人が特定できないように編集したうえで、データベースとしてホームページ上に疾患別に掲載していますので、そちらもご活用ください。

日本心臓財団ホームページ
<https://www.jhf.or.jp/>



セカンドオピニオンのページ
<https://www.jhf.or.jp/action/2ndopinion/>



教室(医局)・病院(医院)・医師会賛助会員の皆様

日本心臓財団と日本循環器学会が共同発行している月刊誌「心臓」の発行と当財団の運営を支えていただいている賛助会員の皆様を感謝の意を表して掲載させていただきます。

教室(医局)賛助会員

札幌医科大学循環器内科
北海道大学循環器内科
弘前大学循環器腎臓内科
秋田大学循環器内科
東北医科薬科大学循環器内科
東北大学循環器内科
山形大学第一内科
筑波大学循環器内科
獨協医科大学心臓・血管内科/循環器内科
群馬大学循環器内科
千葉大学循環器内科
帝京大学ちば総合医療センター循環器内科
日本医科大学千葉北総病院循環器内科
埼玉医科大学国際医療センター心臓内科
自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科
獨協医科大学埼玉医療センター
杏林大学循環器内科
慶應義塾大学循環器内科
順天堂大学循環器内科
帝京大学循環器内科
東海大学医学部附属八王子病院
東京科学大学循環器内科
東京医科大学循環器内科
東京医科大学八王子医療センター循環器内科
東京慈恵会医科大学循環器内科
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター循環器内科

東京大学循環器内科
東邦大学循環器内科
東邦大学医療センター大橋病院循環器内科
日本医科大学循環器内科
日本医科大学多摩永山病院循環器内科
日本大学循環器内科
北里大学循環器内科
昭和医科大学藤が丘病院循環器内科
聖マリアンナ医科大学循環器内科
東海大学循環器内科
横浜市立大学循環器内科
信州大学循環器内科
新潟大学循環器内科
金沢医科大学循環器内科
金沢大学循環器内科
金沢大学心臓血管外科
富山大学第二内科
福井大学循環器内科学
順天堂大学医学部附属静岡病院
浜松医科大学循環器内科
愛知医科大学循環器内科
名古屋市立大学循環器内科
名古屋大学循環器内科
藤田医科大学循環器内科
滋賀医科大学呼吸循環器内科
三重大学循環器内科

京都大学循環器内科
京都府立医科大学循環器・腎臓内科
大阪医科薬科大学内科学Ⅲ
大阪大学循環器内科
大阪大学臨床遺伝子治療学
関西医科大学循環器内科
近畿大学奈良病院循環器内科
奈良県立医科大学循環器内科
神戸大学循環器内科
神戸大学心臓血管外科
鳥取大学循環器内科
広島大学循環器内科
山口大学器官病態内科学
香川大学循環器・腎臓・脳卒中内科
愛媛大学循環器内科
徳島大学循環器内科
高知大学老年病・循環器内科
九州大学循環器内科
久留米大学心臓血管内科
福岡大学心臓血管内科
佐賀大学循環器内科
長崎大学循環器内科
大分大学循環器内科
熊本大学循環器内科
宮崎大学循環器内科
鹿児島大学心臓血管内科

病院(医院)賛助会員

旭川リハビリテーション病院
木原循環器科内科医院
札幌中央病院
札幌心臓血管クリニック
札幌東徳洲会病院
札幌孝仁会記念病院
北海道社会事業協会帯広病院
本荘第一病院
仙台厚生病院
仙台循環器病センター
三友堂病院
大原綜合病院
福島赤十字病院
高安内科循環器科
新小山市民病院
慶友会慶友整形外科病院
博仁会第一病院
田貫会高瀬記念病院
鶴谷病院
輝城会沼田脳神経外科循環器科病院
蜂谷病院
東葛病院
かわぐち心臓呼吸器病院
関越病院
北里大学メディカルセンター
埼玉県立循環器・呼吸器病センター
さいたま市民医療センター
深谷赤十字病院
板橋中央綜合病院
江戸川病院
関東中央病院
榊原記念病院
聖路加国際病院心臓血管センター

虎の門病院
東大和病院
武蔵野赤十字病院
小田原循環器病院
横浜栄共済病院
横浜南共済病院
済生会横浜市南部病院
抱生会丸の内病院
金沢医療センター
済生会富山病院
富山赤十字病院
聖隷浜松病院
トヨタ記念病院
澄心会名古屋ハートセンター
藤田医科大学ばんだね病院
岐阜県総合医療センター
澄心会岐阜ハートセンター
慈朋会澤田病院
近江八幡市立総合医療センター
伊勢赤十字病院
京都桂病院
ゆやまクリニック
小松病院
みどり病院
穀峰会吉田病院
神戸市立医療センター中央市民病院
高清水高井病院
健生会土庫病院
公立那賀病院
新宮市立医療センター
誠佑記念病院
倉敷中央病院
しげい病院

JR広島病院
県立広島病院
東広島医療センター
済生会広島病院
福山循環器病院
さくらぎ循環器・内科クリニック
美祢市立病院
済生会今治病院
今治第一病院
喜多医師会病院
市立宇和島病院
近森会近森病院
新小文字病院
杉循環器内科病院
福岡記念病院
福岡新水巻病院
福岡青洲会病院
済生会福岡総合病院
ヨコクラ病院
大分岡病院
済生会熊本病院
都城市郡医師会病院
鹿児島市医師会病院
鹿児島生協病院
翔南会翔南病院
かりゆし会ハートライフ病院

医師会賛助会員

日本医師会
東京都医師会
上尾市医師会
葛飾区医師会
藤岡多野医師会
前橋市医師会

法人賛助会員の皆様

日本心臓財団の事業の維持と発展にご協力いただいております法人賛助会員のご芳名を感謝の意を表して掲載させていただきます。

(五十音順)		株式会社SUMCO	様	日本心臓ペースメーカー友の会	様
株式会社アクセル	様	三栄メディス株式会社	様	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	様
旭化成ゾールメディカル株式会社	様	株式会社ジェイエムエス	様	日本メトロニック株式会社	様
アストラゼネカ株式会社	様	住友金属鉱山株式会社	様	日本ライフライン株式会社	様
アボットメディカルジャパン株式会社	様	株式会社世界貿易センタービルディング	様	バイエル薬品株式会社	様
アムジェン株式会社	様	ゼリア新薬工業株式会社	様	ファイザー株式会社	様
株式会社 池野商店	様	第一三共株式会社	様	株式会社Score	様
有限会社池野ビルメンテナンス	様	大正製薬株式会社	様	フクダ電子株式会社	様
エドワーズライフサイエンス株式会社	様	ダイナメディックジャパン株式会社	様	ブルーミング中西株式会社	様
エモーションリンク合同会社	様	大日本住友製薬株式会社	様	古河機械金属株式会社	様
オキシゲンアンドパートナーズ株式会社	様	中外製薬株式会社	様	ベストセクション株式会社	様
小野薬品工業株式会社	様	テルモ株式会社	様	ポストン・サイエンティフィック	
オムロンヘルスケア株式会社	様	株式会社トイント	様	ジャパン株式会社	様
株式会社オルリンクス製薬	様	東京海上日動火災保険株式会社	様	株式会社マイベスト	様
カメラ買取市場	様	東邦亜鉛株式会社	様	三井金属鉱業株式会社	様
カリフォルニアくすみ協会	様	株式会社東横イン	様	株式会社三井住友銀行	様
キヤノンメディカルシステムズ株式会社	様	トーアエイヨー株式会社	様	三菱電線工業株式会社	様
救心製薬株式会社	様	株式会社ナック	様	三菱マテリアル株式会社	様
株式会社協和企画	様	NISSHA株式会社	様	明治安田生命保険相互会社	様
キリンホールディングス株式会社	様	株式会社日清製粉グループ本社	様	持田製薬株式会社	様
クリックアンドベイ合同会社	様	日鉄鉱業株式会社	様	株式会社ヤガミ	様
株式会社グローライフ	様	日本アビオメッド株式会社	様	株式会社RUNWAYS	様
ケンツメディコ株式会社	様	日本軽金属株式会社	様	合同会社VACCINE中央協会	様
興和株式会社	様	日本光電工業株式会社	様		

当財団をご支援くださる方

賛助会員としてご支援いただいている方のご芳名を掲載させていただきます。(2025年2~4月)(五十音順)

荻野 和郎 様 窪田 遼 様 庄田 隆 様 濱西 島子 様 森河 裕子 様

当財団へご寄附をいただいた方

次の方々からご寄附を賜りました。感謝の意を表してご芳名を掲載させていただきます。(2025年2~4月)(五十音順)

石原 貴泰 様 今村 匠 様 上田 紀子 様 小川 裕子 様 小栗 華奈 様 河崎 雅史 様 川西 秀忠 様
 白石 雅士 様 関 博明 様 高垣 能利子 様 竹下 淳也 様 テシマトキワ 様 戸叶 淳子 様 藤嶋 加奈子 様
 船山 高裕 様 村上 勝彦 様 山本 和子 様 他 匿名11名

ご寄附のお願い

日本心臓財団は、循環器病を克服するため、研究助成、予防啓発、さらに循環器病に関する皆様からのメール相談などを行ってまいりました。今後もこのような活動を継続させていただけますよう、皆様からのご支援をお待ち申し上げております。何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

当財団は公益財団法人の認定を受けておりますので、当財団へのご寄附は税法上の優遇措置が適用され、所得税(個人)、法人税(法人)の控除が受けられます。

また、税額控除に係る証明を取得しておりますので、個人の方からのご寄附につきましては所得控除と税額控除のいずれか一方を選択いただくことができます。

■三井住友銀行 丸ノ内支店
普通 0801474

■三菱UFJ銀行 丸の内支店
普通 4025878

■ゆうちょ銀行
一般振替口座 00140-3-173597
(ゆうちょ銀行 ○一九(ゼロイチキュウ)店
当座 0173597)
口座名:公益財団法人 日本心臓財団
ザイ)ニホンシンソウザイダン